

法学部開設記念号に寄せて

経営学部長 加藤 孝

まずはじめに、法学部の新設にご努力された方々に、心から御苦勞様でしたと申し上げたい。故上岡一嘉先生が、地元市議会からの強い要請に応え法学部を増設したいと四年ほど前の教授会で発言された日のことは、つい先日の事のように記憶している。その後、上岡先生は、法学部増設に向けて東奔西走の日々を送られているうち病に倒れ、志し半ばにして急逝されて、一時はどうなることかと心配したが、あれから今日までの短期間に、上岡先生の立てられた計画を少しも遅らす事なく、見事に法学部の開設を成功させたことは、並大抵の苦勞ではなかったらうと思う。

故上岡先生も、さぞかし満足しておられることと思う。

あらためて、法学部の増設に向けて獅子奮迅の働きをされた上岡理事長や上岡副理事長、原田学長をはじめ、棚田法学部長、柿沼事務局長、諸星申請室長、その他の関係者の方々に、お喜びを申し上げたい。

これによって我が白鷗大学も、既存の経営学部とあわせ二学部の体制となり、短大を含めると大学経営における一応の経済的規模に達したといえよう。経営上にも多くの規模利益が期待できるが、それ以上に、私ども教員にとって、異分野の先生方や学生諸君と同一のキャンパスで交流することが出来るようになったことは、今後の研究や教育の充実発展に益するところ大である。経営学部だけの時代に比べ、多くの知的刺激を受けられるようになったことは、誠に喜ばしい。

新法学部の特徴は、アジア法関係の充実特に配慮されていることと伺っ

ている。白鷗大学経営学部の特徴は、故上岡一嘉先生の立てられた建学の精神に則り、国際化や情報化の進展など現代の環境動向に十分に対応できる、フロンティア精神の旺盛な人材育成を目指していることと要約できるが、これからの国際情勢変化に伴って、従来以上にアジアに目を向ける必要が高まっているおりから、今回の法学部開設は誠に心強い。これによって、従来は十分な勉強機会に恵まれなかった法職関係に進もうとする地域の若者達の希望に応えることが可能となったわけだが、更に経営学部としても従来よりも一層広い視野と視点を持つ人材へと育成することが可能になることと思う。

私達はこの充実した教育資源を十分に活用し、白鷗大学の充実強化を強く要請してきた地域の方々の期待に応え、地域の若者達をこれからの時代を委せるに足る有能な人材として育成し、これからの我が国の経済社会の発展や、地元小山市など地域の経済発展に積極的に貢献していきたいと思う。